

小学校 第1学年 学級活動(2)

第1学年 学級活動(2) 指導案(例)

平成 年 月 日 (曜日) 第 校時
 1年 組
 指導者 学級担任 (T1)
 栄養教諭・学校栄養職員 (T2)

1. 題材 しっかり食べよう朝ごはん
 【活動内容(2)キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成】

2. 題材設定の理由

平成27年2月滋賀県朝食摂取状況調査結果では、小学1年生は、「毎日食べる89.4%、だいたい食べる8.0%、時々食べる2.1%、食べない0.5%」という結果であった。一日を元気に過ごすためには、正しい生活習慣と生活リズムが何より大切である。朝ごはんをしっかり食べることが正しい生活リズムの第一歩ととらえ、朝ごはんの効果を知り、積極的に朝ごはんを食べようとする意欲をもたせたいと考えこの題材を設定した。

3. 第1学年及び第2学年の評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
○自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。	○学級生活を楽しくするために日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	○学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

4. 食育の視点

朝食や生活リズムを整えることの大切さがわかる。(食事の重要性)

5. 本時のねらい

朝ごはんの大切さを理解し、毎日食べようとする意欲をもつ。

6. 本時の展開

	学習活動	指導の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
導入	1. 自分の今朝の様子を振り返る。	T1: 学級担任 T2: 栄養教諭・学校栄養職員 ○今日の朝ごはんや朝の様子を思い出させる。		
朝ごはんをしっかり食べよう				
展開	2. 二人の友だちの一日の生活を比べる。	○AさんBさんを紹介し、一日の様子を伝える。 ○二人の生活リズムの違いを見つけさせる。	A・Bイラスト 生活リズムカード	

	<p>3. Bさんはなぜ元気がないのか考える。</p> <p>4. 朝ごはんの大切さと早寝早起きの関係について考える。</p>		<p>○朝ごはんの三つのパワーを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭すっきり 勉強に集中できる！ ・心すっきり やる気がでる！ ・お腹すっきり うんこが出る！ <p>○朝ごはんを食べるためには、どんなことが大切か、AとBを比べながら、早寝早起きが必要だと気づかせる。</p>		
終末	5. 朝ごはんを毎日食べる約束をする。	○毎日元気に過ごすため、毎朝朝ごはんを食べようとする意欲を持たせる。			<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きをして朝ごはんを食べようとする意欲をもつ。 (関心・意欲・態度)

7. 事後の指導

家庭に協力を依頼し、点検カードなどを利用し、朝食が一週間とれたかどうか、振り返ることができるようにする。

8. 板書計画例

